

●訓練2の概要

1 目的

南海トラフ地震等の大規模災害発生を想定し、災害時における保健医療調整会議の円滑な設置体制を確保し、保健医療活動に係る関係機関との連絡及び情報連携に関する訓練活動を行う。また、訓練を通じて関係者による連携体制の強化及び課題の明確化を図る。

2 実施予定日

和4年10月1日（土）午前8時45分から午後5時まで

3 参加機関

保健所、各医師会、各歯科医師会、各薬剤師会、地域災害医療コーディネーター、管内病院、管内市町 等

4 協力機関

尾張東部区域災害拠点病院（愛知医科大学病院、公立陶生病院、藤田医科大学病院）

5 訓練項目

- (1) 保健所職員の業務訓練
- (2) 保健医療調整会議の設置及び関係機関の招集
- (3) 地域の情報収集・分析及び伝達

6 訓練内容

- (1) 保健所職員参集及び役割分担による業務訓練
- (2) 防災機器の使用訓練
- (3) 保健医療調整会議の設置及び対応の検討
 - ・ EMIS 入力訓練（未入力病院の内、1 病院を選定し代行入力）
 - ・ 管内被害状況把握及び医療ニーズの検討
 - ・ 関係機関との連携及び情報伝達

7 その他

- ・ 尾張東部医療圏医療救護活動計画では、瀬戸保健所・豊明保健分室2か所に保健医療調整会議を設置することとなっているが、新型コロナウイルス感染症蔓延状況を鑑み、今回は瀬戸保健所にて設置訓練を行う。
- ・ 訓練後には参加機関で検証を実施し、課題の明確化を行う。
- ・ 令和4年9月22日（木）から29日（木）までEMIS訓練モードとなるため、関係機関の入力訓練が可能。

【参考】令和4年度 尾張東部医療圏域 災害医療コーディネーター

医療機関名	職名	氏名
愛知医科大学病院	災害医療研究センター長	津田 雅庸
公立陶生病院	救命救急センター長	市原 利彦
藤田医科大学病院	救急総合内科 講師	加藤 千紘